

日中サービス支援型グループホームの評価結果について

開催日	2026年度第2回町田市障がい者施策推進協議会（2026年7月24日（金））
事業者	株式会社KANOAサポート
事業所名	かのあテラス町田矢部町
評価区分	開設前評価
評価結果	1 評価 町田市では、医療的ケアが必要な方や介助量の多い重度の障がい者が利用できるグループホームを求めています。 評価の結果、上記のニーズに対し、人員配置、支援の内容及び質、医療との連携、地域資源との関わり、地域との関わり、金銭管理、防災の各項目において十分とは言えない点が見受けられました。 つきましては、後述する付帯意見に十分留意し、適切な事業運営を検討してください。また、地域資源や医療機関等と連携し、医療的ケアが必要な方や重度の障がい者の積極的な受入に努めるとともに、短期入所については、緊急時の受入れが円滑に行えるよう、日頃から万全の体制を整えてください。 2 付帯意見 ①人員配置 ・人員体制及び夜間体制については、支援が滞ることなく安定的にサービス提供できるよう、入居者の特性や支援量などに応じて加配する等、柔軟な対応に努めること。 ・医療的ケアが必要な方の受入れについて、将来的には検討していくとの説明があったことを踏まえ、今後の医療ニーズの増大に対応できるよう看護師等の専門職の配置に向けた検討に努めること。 ・聴覚障がい者を受け入れるために手話の可能な支援員の配置に向けた検討にも努めること。 ・職員の離職を防ぐ仕組みを構築し、職員が働きやすい環境整備に努めること。 ・有資格者や資格取得者に対する給与等のインセンティブ制度を検討すること。 ②支援の内容及び質 ・高齢化に伴う重度化も見据え、重度の障がい者への支援力を向上させるためにも、支援に必要な知識、技術が習得されるよう、必要な研修（強度行動障害、各障がい特性、生活支援、虐待防止、権利擁護、管理者研修など）の時間を十分に確保すること。 ・管理者やサービス管理責任者が変わっても支援の方向性が変わらないよう、管理者マニュアルを作成するなど、組織的な取組みを推進すること。 ・虐待防止については、定期的に虐待防止マニュアル等の読み合わせするなど、具体的な取組みを検討すること。 ・ホーム内における日中活動の充実化を図ること。受け身的なプログラムだけでなく活動的なプログラムを検討すること。 ・食事については、可能な範囲で手作りの食事の機会を増やせるよう検討すること。 ・入居者一人ひとりの障がい特性、生活状況、能力などの項目についての的確に把握・分析（アセスメント）し、支援の質の確保に努めること。 ・入居者の高齢化を見据え、将来的な看取りのあり方についても検討すること。 ③医療との連携 ・町田市内の医療（医療機関、訪問診療、訪問歯科、訪問看護等）との連携を積極的に行うこと。 ④地域資源との関わり ・支援困難なケースへの対応力を強化するため、他の障害福祉サービス事業所等の地域資源との連携体制を積極的に構築していくこと。

	⑤地域との関わり ・入居者が地域との交流や社会的な活動に参加できるよう、地域との関わりを具体的に検討し、実施すること。 ⑥金銭管理 ・権利擁護の観点から成年後見制度や社会福祉協議会の地域福祉権利擁護事業などの第三者を介して管理する方法についても検討すること。 ⑦防災 ・地震、風水害、火災等に備えた実効性のある防災計画を作成するとともに、定期的に訓練を実施すること。近隣の施設と災害時の協力体制の構築に努めること。
--	--